

埼玉合同輸血療法委員会 第2回アンケート（2009年）への回答のお願い

埼玉県内 2009年血液使用量

上位 30 施設 御中

病院長 殿

輸血部（門）長 殿

埼玉合同輸血療法委員会 代表世話人 前田平生
世話人 （別記）

謹啓

埼玉県合同輸血療法委員会は、平成 17 年厚生労働省医薬食品局血液対策課長薬食血発第 0606001 号「血液製剤の適正使用推進に係る先進事例等調査結果及び具体的強化方策の提示等について」通知に基づき、埼玉県内の血液製剤の適正で安全な使用を推進するために、平成 21 年 7 月から活動を始めました。

各施設におかれましては、昨年度のアンケートにご協力いただき有り難うございました。また、2010 年 3 月の埼玉県合同輸血療法委員会全体会「第 1 回埼玉輸血フォーラム」には多くの方々のご参加いただきお礼申し上げます。

本年は特定の診療科別の使用量を知るためのアンケートも実施いたしたく、ここにお願いいたします。内容は①輸血業務使用量調査と②診療科別使用状況調査です。これらの結果は 2011 年 2 月 27 日の埼玉県合同輸血療法委員会全体会「第 2 回埼玉輸血フォーラム」で発表いたします。

なお、このアンケートは埼玉県内 2009 年血液使用量上位 30 施設にお送りしております。アンケートは簡素化してあります。また、学会全国調査を二次使用の予定です。趣旨をご理解の上、アンケートへの回答を 10 月 30 日までにご返送願います。

アンケート前提 質問：まず、この質問に必ず回答していただきますようお願いいたします。

敬具

2010 年 9 月 27 日

事務局 埼玉県赤十字血液センター（連絡先：封書参照）

文責：埼玉医大 大久保

埼玉合同輸血療法委員会 世話人 (氏名五十音順 敬称略)

| | | | |
|-------|-------------------------|-----|----|
| 代表世話人 | 埼玉医科大学総合医療センター | 前田 | 平生 |
| 世話人 | 自治医科大学附属さいたま医療センター | 安達 | 秀雄 |
| // | 防衛医科大学校病院 | 阿南 | 和昭 |
| // | 埼玉医科大学総合医療センター | 阿南 | 昌弘 |
| // | 埼玉医科大学国際医療センター/埼玉医科大学病院 | 池淵 | 研二 |
| // | 埼玉医科大学病院 | 板倉 | 敦夫 |
| // | 埼玉県立循環器・呼吸器病センター | 伊丹 | 直人 |
| // | 埼玉医科大学総合医療センター | 大久保 | 光夫 |
| // | 自治医科大学附属さいたま医療センター | 河野 | 幹彦 |
| // | 防衛医科大学校病院 | 坂口 | 武司 |
| // | 埼玉医科大学総合医療センター | 関 | 博之 |
| // | 埼玉県 保健医療部 薬務課 | 西川 | 由浩 |
| // | 自治医科大学附属さいたま医療センター | 西田 | 淳二 |
| // | 埼玉県立小児医療センター | 野村 | 耕司 |
| // | 埼玉医科大学国際医療センター | 林田 | 眞和 |
| // | 獨協医科大学越谷病院 | 春木 | 宏介 |
| // | 深谷赤十字病院 | 平林 | 久美 |
| // | 自治医科大学附属さいたま医療センター | 藤野 | 真治 |
| // | さいたま赤十字病院 | 星野 | 茂 |
| // | 埼玉社会保険病院 | 前原 | 光江 |
| // | 埼玉県赤十字血液センター | 南 | 陸彦 |

平成 22 年 6 月 14 日現在

埼玉合同輸血療法委員会 第2回アンケート（2009年）②診療科別使用状況調査への回答協力をお願い

埼玉県内 2009年血液使用量

上位 30施設

診療科別使用状況調査対象

心臓血管外科 診療部長 殿

産婦人科 診療部長 殿

消化器外科 診療部長 殿

埼玉合同輸血療法委員会 代表世話人 前田平生
世話人（別添）

謹啓

埼玉県合同輸血療法委員会は、平成17年厚生労働省医薬食品局血液対策課長薬食血発第0606001号「血液製剤の適正使用推進に係る先進事例等調査結果及び具体的強化方策の提示等について」通知に基づき平成21年7月からスタートしました。

埼玉県内の安全で適正な血液製剤の使用の一助とするためアンケートを実施いたしたく、病院長、輸血部長宛にお願いしたところです。

アンケート内容のうち②診療科別使用状況調査（ページ6～8）については、輸血管理部門が把握できていない情報もあります。その場合には、該当診療部門の医師が回答にご協力くださいますようお願いいたします。

輸血部門とご相談の上アンケートへの回答を10月30日までをお願いいたします。

敬具

②診療科別使用状況調査（ページ6～8）

選択1 心臓血管外科の診療を行っている場合にはQC1～4についてお答えください。

選択2 産科の診療を行っている場合にはQG1～9についてもお答えください。

選択3 肝切除の診療を行っている場合（消化器外科、肝胆膵外科など標榜科目は問わず）にはQE1～6についてもお答えください。

2010年9月27日 文責 大久保

アンケート前提 質問： まず、この質問に回答してください

二次使用と埼玉県合同輸血療法委員会内での施設名の公表について

本アンケートは 2009 年 1 月から 12 月までの埼玉県内の医療機関における血液製剤の使用・管理を調査する①埼玉県合同輸血療法委員会 2009 輸血業務使用量調査ですが、全国との比較のために日本輸血細胞治療学会 2009 輸血業務使用量調査（以下学会アンケート）と質問項目は同じです（別記の②診療科別使用状況調査：心臓血管外科，産婦人科，消化器外科の質問を除く）。本年は，回答の手間を省くために日本輸血細胞治療学会から埼玉県医療機関回答分を適正に入手し，これを①として利用することになりました。

ただし，埼玉県内医療機関同士の血液製剤の使用量の比較検討に供するために，医療機関名を再連結する必要があります。学会アンケート回答時点（2009 年 12 月から 2010 年 2 月に実施）では，二次使用と埼玉県合同輸血療法委員会内での施設名公表についての承諾を得ておりませんので，本アンケートへの二次使用と埼玉県合同輸血療法委員会内での施設名の公表に関して，まず以下の質問にお答えください。

（施設名を書いてから 1，2，3 のひとつを選んで□にチェックしてください。）

注：施設名公表は埼玉県合同輸血療法委員会内での検討の際の施設名の公表を意味し，それ以外では無名化されます。

施設名（病院名）（略称で結構です）

- 1. 二次使用と埼玉県合同輸血療法委員会内での施設名の公表も認める。
- 2. 二次使用は認めるが，施設名の公表は認めない。
- 3. 二次使用も埼玉県合同輸血療法委員会内での施設名の公表も認めない。

①埼玉県合同輸血療法委員会 2009 輸血業務使用量調査

質問項目は日本輸血細胞治療学会 2009 輸血業務使用量調査と同じため学会アンケートを二次使用する予定です。したがって、二次使用に同意されれば

①埼玉県合同輸血療法委員会 2009 輸血業務使用量調査について記入する（アンケート回答は）必要ありませんので、ここには質問書を同封してありません。

もしも、日本輸血細胞治療学会 2009 輸血業務使用量調査には未回答で、今回埼玉県合同輸血療法委員会 2009 輸血業務使用量調査にのみ回答する（意思がある）施設がございましたら、事務局（埼玉県赤十字血液センター 日高市，学術，神山氏）まで別途ご連絡ください。質問書類等をお送りします。

②診療科別使用状況調査：心臓血管外科，産婦人科，消化器外科

以降の診療領域に関する質問では該当する診療科がなければ回答の必要はありません。なお、輸血管理部門が把握できていない情報もあります。その場合には、病院要覧/年報等から転記するか、該当診療部門の医師にご回答をお願いしてください。

選択1 心臓血管外科の診療を行っている場合には QC 1～4 についてお答えください。

選択2 産科の診療を行っている場合には QG 1～9 についてもお答えください。

選択3 肝切除の診療を行っている場合（消化器外科，肝胆膵外科など標榜科目は問わず）には QE 1～6 についてもお答えください。

1. 心臓血管外科の診療を行っている場合（2009年1月から12月までの実績）

QC 1 心臓血管外科病床数 _____ 床

QC 2 年間手術数

OPCAG _____ 件（うち緊急手術 _____ 件）

On pump CABG _____ 件（うち緊急手術 _____ 件）

Valve(s) _____ 件（うち緊急手術 _____ 件）

TAA _____ 件（うち緊急手術 _____ 件）

AAA _____ 件（うち緊急手術 _____ 件）

先天性疾患 _____ 件（うち緊急手術 _____ 件）

ASO _____ 件（うち緊急手術 _____ 件）

その他（ ） _____ 件（うち緊急手術 _____ 件）

QC 3 1例あたりの平均出血量

OPCAG _____ ml

On pump CABG _____ ml

Valve(s) _____ ml

TAA _____ ml

AAA _____ ml

先天性疾患 _____ ml

ASO _____ ml

その他（ ） _____ ml

QC 4 1例あたりの平均輸血量（術中のみ）RCC 1単位=140ml, FFP 1単位=120mlとする。

OPCAG 平均輸血量 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

On pump CABG 平均輸血量 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

Valve(s) 平均輸血量 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

TAA 平均輸血量 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

AAA 平均輸血量 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

先天性疾患 平均輸血量 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

ASO 平均輸血量 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

その他（ ） 平均輸血量 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

医師側からのご意見がございましたら、裏面へお書き添えください。

（例 専門分野における FFP の使用量、基準等について、日赤への要望等）

回答有り難うございました。解答用紙は返信用封筒にて（前提、①、②をまとめて）10月30

日（必着）までに埼玉県赤十字血液センターへご返送ください。

2. 産婦人科の診療を行っている場合（2009年1月から12月までの実績）

QG 1 併設施設があればチェックしてください。

1. 総合周産期センター
 2. 地域周産期センター

QG 2 産婦人科病床数 _____ 床

うち MFICU _____ 床, 産科病床（後方病床も含む） _____ 床

QG 3 年間入院患者数は _____ 人（うち 産科 _____ 人）

QG 4 年間外来患者数は _____ 人（うち 産科 _____ 人）

QG 5 年間搬送患者数は _____ 人（うち 母体搬送 _____ 人）

QG 6 分娩様式 経膈分娩数 _____ 人

帝王切開数 _____ 人

QG 7 年間総手術数 _____ 件

QG 8 妊娠関連で同種血輸血を行った例数{異所性（子宮外）妊娠・産褥搬

送例も含む}および平均輸血量は（RCC 1 単位=140ml, FFP 1 単位=120ml）

異所性妊娠 _____ 件 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

単胎 経膈分娩 _____ 件 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

単胎 帝王切開 _____ 件 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

多胎 経膈分娩 _____ 件 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

多胎 帝王切開 _____ 件 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

経膈分娩後産褥搬送 _____ 件 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

帝王切開後産褥搬送 _____ 件 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

その他 _____ 件 RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

QG 9

分娩様式別（母体 1 例あたりの）平均出血量と平均輸血量（出産 or 術中+産褥 or 術後） RCC 1 単位=140ml, FFP 1 単位=120ml.

正常分娩 出血 _____ ml, RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

異常分娩 出血 _____ ml, RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位

産科医師側からのご意見がございましたら、裏面へお書き添えください。
（例 専門分野における FFP の使用量、基準等について、日赤への要望等）

回答有り難うございました。解答用紙は返信用封筒にて（前提、①、②をまとめて）10月30日（必着）までに埼玉県赤十字血液センターへご返送ください。

3. 肝胆膵外科（または肝胆膵外科として独立させてはいないが肝切除を行っている外科）分野についてお尋ねします。（2009年1月から12月までの実績）

QE 1. 専用病床数 _____ 床

QE 2. 該当診療科入院患者総数 _____ 人

QE 3. 該当診療科の（救急、緊急）搬送患者数 _____ 人

QE 4. 肝切除術例数 _____ 人

QE 5. 1例あたりの平均術中出血量 _____ ml

QE 6. 平均術中 輸血量 (RCC 1単位=140ml, FFP 1単位=120ml)

RCC _____ 単位, FFP _____ 単位, PC _____ 単位, アルブミン製剤 _____ g

肝切除を行う医師側からのご意見がございましたらお書き添えください。

（例 専門分野における FFP の使用量, PT 値などの基準等について, 日赤への要望等）

回答有り難うございました。解答用紙は返信用封筒にて（前提, ①, ②をまとめて）10月30日（必着）までに埼玉県赤十字血液センターへご返送ください。